

京都保健衛生専門学校

小澤 優*

I. 学校の概要

本校は昭和 39 年に堀川病院が看護婦養成のために設立した堀川高等看護学院がその前身です。その後、京都私立病院協会が設立され堀川高等看護学院の運営も協会に移管されました。また、京都の医療現場からの臨床検査技師養成要望の声に応じて昭和 48 年に京都私立病院協会が京都保健衛生学院臨床検査学科(夜間部・現在の第二臨床検査学科)を設立し、その後、昭和 51 年に専修学校の認可を受けて学校名を京都保健衛生専門学校と改称し、翌年の昭和 52 年に高校新卒者を臨床検査技師に養成すべく昼間部 3 年制の第一臨床検査学科を設立。平成 10 年には昼間部 1 年制の臨床工学技士専攻科を開講し、現在の看護学科三年課程、第一臨床検査学科、第二臨床検査学科、臨床工学技士専攻科の 4 学科体制となりました。

本校の特徴は同じ校舎に臨床検査技師、看護師、臨床工学技士の 3 コースがあることです。これにより学科を越えた学生の交流(他職種交流)が容易で、チーム医療の基礎が形成できると考えております。もう一つは全国唯一となった臨床検査技師の夜間養成コースである第二臨床検査学科があげられます。夜間部教育は他の職種も含めて学生の不人気から多くの学校が撤退していく中、当校では、働きながら学ぶ学生のバックアップこそ専門学校の使命とし、学科運営を続けてきた結果、ここ数年では社会全般の不景気からか夜間部教育が再度脚光を浴びるようになり 22 年度入学生は定

員を埋めるまでになりました。また、この第二臨床検査学科(4 年制)では日本病院会認定の診療情報管理士認定試験を 4 年制の 3 年次に受験できるのも大きな特徴で、卒業時には多くの学生が臨床検査技師と診療情報管理士のダブルライセンスで就職して行きます。もう一つの特徴は臨床工学技士専攻科を持つことであり、修業年限 1 年でダブルライセンス、トリプルライセンスを目指す臨床検査技師、看護師を迎え入れております。

II. 教育の特徴

1. 第一臨床検査学科

(昼間部 3 年制 定員 40 名)

1 年次は基礎分野と専門基礎分野が授業科目の中心となり高校の生物、化学、物理、数学の復習から始め、人体の構造と機能へと知識・興味が継続していくようにしています。学外学習としては、まず、臨床検査技師を目指すことの動機付けとして総合病院の見学を実施しています。ここでは検査部を中心に医療関連職種全般を見学し、チーム医療の理解にもつなげるようにしています。次に 1 年次後期には循環器実習として学生それぞれが 1 週間の病院実習を体験します。ここでは生理機能検査室を中心に見学・実習し、患者さんに接することの大変さと喜びを実感することができます。さらに情操教育の一環として、臨床検査学科全クラス参加で京都の文化・歴史を勉強する時間も授業としており、市内各所の社寺仏閣や文化財の見学も行っています。2 年次は専門科目中心の授業

*ozawa@kyohosen.ac.jp



写真1 校舎全景

となり後期は臨地実習中心のカリキュラムとなります。3年次は知識のまとめを目的とした授業を組んでおり、その中には第2種ME技術実力検定試験に向けた授業や健康食品管理士認定試験に向けた授業も数多くあり、学生個々の知識の幅を広げると共に、それら認定試験が臨床検査技師国家試験に向けた模擬試験的な役割も果たしています。

2. 第二臨床検査学科

(夜間部4年制 定員40名)

夜間部授業は17:30~19:00、19:10~20:40の90分2コマで授業を行っています。昼の時間帯は学校紹介の病院等医療機関でアルバイトとして働いているものが多いです。クラスの構成としては入学時20歳以上82%、他の専門学校卒17%、大学卒47%と年齢層、学歴、経験とも多様な学生の集まりとなっているのも大きな特徴といえます。カリキュラムは1年次に基礎分野、2年次に専門基礎分野、3年次に専門分野、4年次に臨地実習と専門分野を中心に展開しています。また3年次後期には診療情報管理士認定試験を受験しますので、臨床検査の授業と平行して1年次より診療情報関連の授業を実施しています。

3. 教員体制

教育にあたる専任教員は第一臨床検査学科と第二臨床検査学科合わせて9名(臨床検査技師7名、医学博士1名、資格なし1名)、非常勤講師は医



写真2 初代校長 竹澤徳敬先生

師、臨床検査技師を中心に約90名に協力をお願いしています。

4. 学生の様子

高校新卒で当校へ入学する学生は、勉強習慣の確立していないものが多いようです。彼らの基礎学力不足を補うために、入学後すぐに高校理数科目の模擬試験を実施し学生個々の苦手分野を洗い出し、科目ごとに専任教員が少人数制の補習を実施しています。また、1年生2年生に対して授業内容の復習と予習を目的とした課題を配布し、毎週月曜日1限目に課題試験を実施しています。しかし、メンタル面で問題を抱える学生も増えており、詰め込み型指導だけでは効果が上がらないのも現状です。

他校の先生方にも同じような苦勞をされている方もいらっしゃると思います。是非、意見交換、情報交換をさせていただきたいと存じますので、よろしければご連絡の程よろしく願いいたします。